

(定例)

(報告 沼田)

山(山域・ルート) 高妻山 (2,353m 戸隠連峰最高峰)

【日時】 2013年8月24日(土)(前泊)～ 8月25日(日)

【メンバー】 岩田、鎌田、池谷、
深谷、蓑島、沼田
(計 6名)



【行動記録】

8/24(土) 18:10 大宮出発

22:00 戸隠キャンプ場、
駐車場着

8/25(日) 6:00

キャンプ場出発

12:50 高妻山山頂 13:30 下山 18:00 キャンプ場着

上り 6時間50分 下り 5時間30分

【装備・食料等】

テント(2張り)、シェラフ、シェラフカバー、マット、ツウエルト、
ヘッドランプ

【感想】

22:00 戸隠キャンプ場着、広い駐車場にすでに十数台停まっていた。(無料)車2台の間に、テントを2張り設営。駐車場下は、碎石だったので、座り心地は、悪い。トイレは、道の反対側にあり、新しくて清潔...

ネットでは、旧道が土砂崩れのため通れないとのことだったが、登山者からの情報で、開通しているとのこと。急遽、ルートを旧道に変更。また、今年は水が多いとの情報も。プチ沢登りをしているような、沢道を登ると、「氷清水」(水場)に着く。名前の通り、冷たい湧き水を補給できる。(水質汚染の話題も・・・?) 鎖場を2箇所通過すると、避難小屋に到着。(結構きれい。)

一不動(避難小屋)、二釈迦、三文殊、四普賢と辿って行くと、高妻山頂に到着する。山頂がぎりぎりにならないと見えてこないのも、高妻山の特徴。

途中、登山者に「ここが山頂手前の急登ですか?」と尋ねると、「急登の手前の急登」とのこと。先を進むと、納得! 山頂手前は、超急登でした。青空にそびえ立

つ、高妻山は、まるで天空に登る階段のように素敵でした。

登頂までに、約 7 時間と時間がかかりましたが、山頂は、遠くアルプスの山を望む絶景！！！！。皆で、ヤッホーの大合唱！達成感満載です。（但し、黒姫側は霧で見えませんでした。）

お昼休みもそこそこに、下山を開始。新道は、十数年前に作られたとのこと。ぬかるんだ黒土と、サルの生息地ということで、そこらじゅうにフンが落ちていて、悪臭がただよう。また、すさまじい数のブヨに取り巻かれた。防虫スプレーは、数分しか役に立たない。（本日の教訓、防虫ネットは、必須です！）途中、悪臭の原因の猿が木の上で毛づくろいをするのを見かけたが、小ぶりでかわいらしい。

新道は、笹等の根が無数に伸び、また湿気も強い場所なので、下山は滑りやすく、かなり神経を消耗させられ、しんどい。

18:00 によくキャンプ場、駐車場に到着。全員無事でなによりでした。今回は、8 月末の日が長い時期なので、ヘッドランプを使わずに下りてこられたが、これからの時期は、早めの出発が肝心。

戸隠のキャンプ場は、バンガローなどの設備も充実。下山後、シャワーを浴びてビールを飲むのも可能。また、戸隠山、飯綱山、黒姫山と足回りも良い。山に登らずとも、避暑を楽しめる素敵な場所でした。以上